

帆走指示書 (SAILING INSTRUCTION)

JWSA WING FOIL RACING 2024

《レーシングクラスにおける競技規定》

1) 適用規則

1.1 競技者は下記のルールを守る前に最大限の安全を確保するうえで競技を行わなければならない。安全が確保されていない状態での衝突はレースコミッティの判断によりペナルティーが下される場合がある。

1.2 本帆走指示書 は JWSA2024 競技運営委員会で構成される。

2) 帆走指示書の変更並びに選手への通告

本帆走指示書の変更並びに選手への通告が有る場合は大会本部の公式掲示板に当確のレーススタート 20 分前迄には掲示される

3)責任の所在

本大会のレースコミッティ及びボランティアスタッフは人員、物件に対する 全ての損害の責任を負わない、出艇しスタートするかしないか、あるいはレース を継続するかどうかの判断及び水上における安全管理の責任は各選手にある

4) 競技規則及び規定

4.1 レーシングクラス (アップウインド&ダウンウインド)、スピードトライアル競技

4.2 レースエリア、コース図 レース当日の最初のスタート予定時刻の 30 分前迄に公式掲示板に掲示する。 トップフィニッシャーの周回所要時間の目標 4 分~最長 8 分以内のコース設定を目標とする。

5) 風速規定

ミニマムウインド 8knot/sec, マキシマムウインド の設定は設けないが、尚、風速に関しては海上のレースコミッティ及び大会協議委員会が判断し遂行する。これに対する抗議は受け付けない

6) レーシングクラスにおける陸上で掲揚される信号機

6.1 AP 旗(音響 2 声)掲揚 レースのスタートは延期された / 降下の際(音響 1 声)

6.2 D 旗(音響 1 声)間もなく予定されているレースが行われる。 レースエリアに向かえ

6.3 L 旗(音響 1 声)新たな選手への通告が公式掲示板に掲示された

6.4 AP 旗+A 旗(音声 2 声)スタートしていないレースを延期する本日はこれ以上レースは行わない

7) レーシングクラス海上で掲揚される信号旗

7.1 スタート信号 ※レーシングクラス

【予告信号】

- スタート 3分前 《女子》 赤色 《男子》 青色旗掲揚(音響 1 声)
- スタート 2分前 準備信号 U 旗又は黒色旗掲揚(音響 1 声)
- スタート 1分前 U 旗又は黒色旗降下 〈音響 1 声〉
- スタート信号 《女子》 赤色 《男子》 青色旗降下(音響 1 声)でスタート

※オープンクラスで掲揚される信号旗

【予告信号】

- スタート 3分前 オレンジチェック旗掲揚(音響 1 声)
- スタート 2分前 準備信号 U 旗掲揚(音響 1 声)
- スタート 1分前 U 旗降下 〈音響 1 声〉
- スタート信号 オレンジチェック旗降下(音響 1 声)でスタート

7.2 その他の水上で掲揚される信号

7.3 AP 旗(音響 2 声)レースのスタートは延期された、降下の際は(音響 1 声) 新たな信号は AP 旗降下後 1 分後に掲揚される

7.4 AP 旗+H 旗(音響 2 声)レースのスタートは延期された、陸上へ戻れ 新たな信号は陸上で発せられる

7.5 N 旗(音響連呼)スタートしたレースは中止する スタートエリアに戻れ 降下 後 1 分後に新たな予告信号が掲揚される

7.6 N 旗+H 旗(音響 3 声)レースは中止された、陸上へ戻れ 新たな信号は陸上で発せられる

7.7 L 旗(音響 1 声) 選手は声の届く範囲に寄れ通達事項が有る

7.8 X 旗(音声 1 声) スタートに於いてリコール(OCS)が現認された

7.9 第一代表旗(音響 2 声)スタートは”ゼネラルリコール”と成った、帆走を止めスタート エリア に戻り 再スタートに備えろ / 降下の際は(音響 1 声) 1 分後に新たな予告信号が掲揚される

8)レーシングクラスにおけるスタート及びフィニッシュの規定

- 8.1 スタート 1 分前のスタートエリアのミニマム風速はアベレージ 8knot/sec、とする。ただし、その場の状況や風速の判定はレースコミッテーターが判断する
- 8.2 スタートラインはスタート信号後 4 分間で消滅する、これ以降のスタートは DNS と判定される
- 8.3 フィニッシュは、泳ぐ、パドリング、艇が着水した状態でのパンピングでのフィニッシュはフィニッシュとして認められない。艇はフォイリングした状態あり艇体の一部がフィニッシュラインを横切った時にフィニッシュと認める。オープンクラスに於いてはフォイリングしていない状態でも艇体の一部がフィニッシュラインを横切った時にフィニッシュと認める。

9) タイムリミット

タイムリミットはトップ艇フィニッシュ時間より 15 分間とする

10) 得点(スコアリング)

- 10.1 トップフィニッシュ艇を 1 点とし以下着順がポイントと成る低得点方式でスコアリングする、DNS,DNF,DSQ,OCS,BFD,の得点は参加艇プラス 1 点とする
- 10.2 2 艇以上の間で得点でタイがある場合には、それぞれの艇のレース得点を、最も良いものから最も悪いものの順に並べて、最初に違いがある点で、最も良い得点の艇を上位としてタイを解かなければならない。除外した得点是用いてはならない。
- 10.3 それでも 2 艇以上の間でタイが残る場合には、最後のレースの得点で順位を付けなければならない。さらに残ってるタイは、最後から 1 つ前のレースの得点を用いて解かなければならず、全てのタイが解けるまで同様に行う。その中に除外された得点があったとしても、それを用いなければならない。

11) 選手の識別

参加選手は公式掲示板に公示された背番号のビブを着用し、レースに参加しなければならない。着用しないままもしくは背番号が判読できない状態でレースに参加した選手は当該のレースのフィニッシュは認められず DNF としてスコアリングされる

12) 外部の援助

艇をサポートする外部の艇はコースエリア外にて援助を行う。コースエリアに近い場所で行われた場合は本部艇から警告。該当する艇はペナルティーとして加算される。艇及び外部のサポート艇はスポーツマンシップとフェア・プレーの原則に従って競技しなければならない。全ての援助艇は海上本部艇の指示に従うことと、全ての援助艇は事前に大会実行委員会で艇種の事前登録を行うこと。

13) 抗議(プロテスト)

レースエリアで起こったケースについて抗議しようとする選手は当確レースのフィニッシュ後、海上で速やかにレースコミッティにその旨を伝えなければならないが、抗議の内容が要件を満たしているかの判定はレースコミッティの判断に委ねる。それに対する一切の抗議は認められない。

14) レース数及びカットレース

今大会の最大レース数は 8 レースとし、1 レースの成立をもって大会の成立とする。カットレース数は成立したレースの数により以下の通りとする。

～4R 毎にカットレース数 1

15) ゼッケンを着用し海上に出艇するときは出艇前には必ず出艇申告書に出艇時刻サインし、帰着した時にも必ず帰着申告書に帰着時刻をサインする事。それらを怠った場合のペナルティーが科される。出艇申告を怠った場合は最も成績の良いレースをカット。出艇と帰着申告を怠った場合は最も良い成績のレースと、その次に良い成績のレースの 2 本がカットされる。帰着申告はレース終了後速やかに行うこと。(原則レース終了後 30 分以内)

- 16) 参加選手は必ずライフジャケット、ヘルメット、ウイングのリーシュコードの着用を義務づける。レース中にこれらの装備がない選手はそのレースを DSQ とする。
※尚、ボードリーシュ使用に関しては本人の判断に委ねる。

17) リーチング・スタート前の同一タック

予告信号時、最初のマークへ向かうコースが真の風向からおおよそ 90 度である場合、スタート信号前の 1 分間に同一タックの他のウイングフォイルの風下にオーバーラップしたウイングフォイルは、そのオーバーラップが続いてる間は、結果として相手のウイングフォイルが接触を避けるための回避行動をとらなければならない場合には、そのウイングフォイルは、最初のマークへの最短コースよりも風上を帆走してはならない。ただし、そうすることにより直ちにウイングフォイルの後方を帆走する場合を除く。